

佐久市行政改革行動計画 (令和4年度～令和8年度)

計画の位置付け

この計画は、第四次佐久市行政改革大綱の「未来的視点の導入による持続可能な行政経営の推進」という基本理念の実現に向けて、大綱の基本方針に基づき、行政改革の具体的な実施項目や改革目標を設定する中で、実際の取組に努め、改革を推進していくためのものです。

計画の期間

この計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

計画の進め方

この計画は、毎年度、佐久市行政改革推進委員会において進行状況のチェックを受けるとともに、市民に公表し、いただいた意見や提案を反映しながら、現状と課題を的確に把握する中で、必要な見直しや改善を図ります。



『第四次佐久市行政改革大綱』

行政改革の基本3

「未来的視点の導入による持続可能な行政経営の推進」

基本体系

基本方針	主要事項	取組項目	項目名	分類	改革事項	担当部署	番号
基本方針1 ～協働・連携による行政経営の推進～	1 市民の行政参画の推進	(1) 広報・広聴機能の充実	行政情報の積極的な提供	継続	ホームページのリニューアル	広報広聴課	1
			広聴機能の充実	継続	ガイドラインの施行	広報広聴課	2
		(2) 市民目線による見直し	市政への市民参加の拡充	継続	ガイドラインの施行	広報広聴課	3
			民間諸団体との連携による協働の推進	継続	イベントの実施、積極的な情報発信	広報広聴課	4
			消防団組織のあり方の見直し	継続	会議・訓練、消防団活動の見直し 班等の統合による組織の再編成	危機管理課	5
	2 多様な主体との連携の推進	(3) 協働体制の強化	道路施設及び駅前広場のアダプトシステム事業の促進	継続	新たな情報発信による事業の推進	土木課	6
			公園のアダプトシステム事業の推進	継続	新たな情報発信による事業の推進	公園緑地課	7
			学校給食調理業務の民間委託	継続	学校給食調理業務の民間委託	学校給食課	8
		(1) 民間委託の推進	公立保育所給食調理業務の民間委託	継続	公立保育所給食調理業務の民間委託	子育て支援課	9
			佐久地域定住自立圏の推進	継続	定住自立圏ビジョンの見直し	企画課	10
基本方針2 ～スマート自治体の実現～	1 自治体DXの推進	(1) ICTの活用と業務プロセスの見直し	文書管理システムの導入	継続	文書管理システムの導入による事務効率化	総務課	11
			窓口業務の改善と充実	完了	総合窓口システムの導入及び市民窓口のレイアウトの変更	情報政策課	12
			ICTの活用と業務プロセスの見直し	継続	キャッシュレス決済の導入		13
		(2) 窓口業務等における情報システムの標準化	窓口業務等における情報システムの標準化	継続	自治体情報システムの標準化	情報政策課	14
	2 利便性の向上とセキュリティの確保		ICTの活用による市民サービスの向上	継続	LINE公式アカウントを用いたサービスの充実	情報政策課	15
	(1) ICTの活用による市民サービスの向上	公正で適正な入札契約制度の推進	完了	電子入札の対象範囲の拡大	契約課	16	
		入札参加システムの導入	継続	電子契約システムの導入		16	
		情報のセキュリティ管理の徹底	継続	情報セキュリティポリシーの最適化	情報政策課	17	
基本方針3 ～持続可能な財政経営の追求～	1 自立した健全な財政基盤の確立	(1) 市税、保険料及び使用料などの収納率の向上	事務事業評価シートにより進捗管理				
			経営的視点による公有財産の適正な管理の実施	継続	公有財産の売却処分の推進	財政課	18
		(2) 自主財源の確保	新たな自主財源の確保	継続	ネーミングライツの導入	企画課	19
			企業誘致の推進	継続	工業団地造成及び企業誘致の方法	商工振興課	20
			行政評価システムの見直し	継続	行政評価システムの見直し	企画課	21
	2 行政の役割の重点化	(1) 行政評価システムの重点的な活用	保健事業の推進	継続	特定健診要因調査に基づく新たな取組の実施	健康づくり推進課	22
			公共交通体系の再編	継続	新たな公共交通体系による運行	生活環境課	23
			アーティストバンク事業について	継続	アーティストバンク事業の検証	文化振興課	24
		(2) 補助金などの現状把握と見直し	補助金などの現状把握と見直し	継続	補助金等外部評価の実施及び補助金の見直し	企画課	25
			有機農産物認証負担金の見直し	完了	認証制度の廃止	臼田支所経済建設環境係	26
	(3) 地方公営企業及び外郭団体の改革	外郭団体の見直し	完了	土地開発公社の解散	企画課	27	
		継続的な健全経営と良質で安定した医療の提供	継続	医療体制の充実	浅間総合病院総務課	28	
			水洗化の普及促進と継続的な健全経営の実現	継続	効率的な施設整備、維持と水洗化による快適な生活環境の提供	下水道課	29
		(1) 公共施設等の適正化	公共施設等の適正化の推進	継続	「公共施設等総合管理計画」及び「個別施設計画」の改訂	企画課	30
			靈園管理のあり方の見直し	完了	靈園の管理手法の検討	臼田支所経済建設環境係	31
			近代化施設の地元区等への移譲	継続	ガイドラインの作成	農政課	32
	3 公共施設マネジメントの推進	佐久市近代美術館の展覧会の運営の見直し	佐久市近代美術館の展覧会の運営の見直し	継続	18歳未満の観覧料の見直し	近代美術館	33
			生活排水処理施設の統廃合の推進	継続	統廃合計画の遂行	下水道課	34
			PPP/PFIの活用	継続	PFIに関する内部規定の策定の検討	企画課	35
基本方針4 ～効率的・効果的な行政体制の整備～	1 市職員の意欲と資質向上を促す環境の整備	人事評価制度の活用と人材育成の推進	継続	人材育成の推進	人材育成推進のための研修機会の確保	総務課	36
		人事評価結果の処遇への反映	継続	評価結果の人材育成や給与等処遇への反映	人材育成推進のための研修機会の確保	総務課	37
	2 柔軟で機動的な組織体制の確立	課題に対する市職員の意識の向上	継続	職員提案制度活用の推進	提案に対するインセンティブ導入の検討	企画課	38
		(1) 社会変化に対応可能な組織の実現	専門性と事務量の増減に応じた職員配置	継続	専門性と事務量に応じた職員の適正配置	企画課	39
			支所日直の見直し	完了	支所日直の廃止	企画課	40
			各審議会の見直し	継続	審議会見直し指針の策定	企画課	41
		(2) 効率的・効果的かつ適正な事務の執行	継続	監視機能の強化	内部統制制度導入の検討	企画課	42

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	1	区分	1－1－(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	行政情報の積極的な提供				
現状と課題	ホームページ等による、情報発信の一層の充実が求められるとともに、新たな情報提供方法についての検討が必要である。				
担当部署	企画部 広報広聴課 広報係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	ホームページのリニューアル		効果測定	指標設定
目標		情報を迅速に、分かりやすく提供できるよう、ホームページの見やすさの向上を図るとともに必要に応じて、ホームページのリニューアルを行う。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	アンケート調査等によるニーズ把握	プロポーザルの実施	構築・運用開始	→	
	実績	達成	未達成	達成		
	備考	—	費用検討により随意契約とした。			
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）		達成見込年度	令和 6 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	市ホームページの訪問者数（令和3年度実績：1,320,000人）				
	目標値	1,350,000人	1,800,000人	1,400,000人	1,450,000人	1,450,000人
	実績値	1,921,845人	1,388,845人	1,255,572人		
	備考	新型コロナウイルス感染症の感染拡大期に訪問者数が増加した				
財政効果額（千円）						
計画改訂年度		令和 7 年度	改訂内容	Googleアナリティクスの仕様変更により、集計方法を変更したため、訪問者数が減少したことから目標値を変更した。		

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	2	区分	1-1- (1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	広聴機能の充実				
現状と課題	より多くの市民から意見を聴取するため、広聴活動の充実を図る必要がある。				
担当部署	企画部広報広聴課広聴市民活動係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	ガイドラインの施行		効果測定	指標設定
目標		佐久市型情報公開制度の徹底とともに、その過程におけるパブリックコメントを補完する意見聴取を促進する。				
年次 計画 （改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	多様な意見聴取方法の整理・検討	→	ガイドライン施行	→	
	実績	一部達成	達成	達成		
	備考	他市事例の調査	令和6年4月1日施行			
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）			達成見込年度	令和 6 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	市民等と市との協働事業報告における「情報交換・意見交換」件数（令和3年度実績：5件）				
	目標値	5件	7件	8件	9件	10件
	実績値	7件	7件	7件		
	備考	—	—			
財政効果額（千円）						
計画改訂年度	令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	3	区分	1-1- (2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	市政への市民参加の拡充				
現状と課題	市政の課題や新規事業について市民とともに検討するなど、市民が行政と協働してより良いまちづくりに取り組むため、多様な方法による市民参画を推進する必要がある。				
担当部署	企画部広報広聴課広聴市民活動係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	ガイドラインの施行	効果測定	指標設定
目標		地域課題や新規事業について検討する際に、市民とともに考える機会を増やす。			
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	企画段階からの市民参画機会の創出方法の検討		ガイドライン施行	
	実績	一部達成	達成	達成	
	備考	他市事例を調査	令和6年4月1日施行		
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）		達成見込年度	令和 6 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標	市民等と市との協働事業報告における「企画段階からの参画・政策提言」件数（令和3年度実績：6件）			
	目標値	6件	7件	8件	9件
	実績値	4件	4件	4件	
	備考	—	—		
財政効果額（千円）					
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容		

佐久市行政改革行動計画 (R4~R8)

1. 基本情報

番号	4	区分	1-1-(3)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	民間諸団体との連携による協働の推進				
現状と課題	多様な主体の連携・協力による協働のまちづくりを推進するため、担い手となる団体を結び付けるネットワークづくりが必要である。				
担当部署	企画部広報広聴課広聴市民活動係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	イベントの実施、積極的な情報発信		効果測定	指標設定
目標		市民活動サポートセンターにおけるイベント・講座や、取材活動・SNSによる情報発信を通じて、センターへの登録団体を増やし、協働を生み出す土壤をつくる。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	イベント実施、情報発信				
	実績	達成	達成	達成		
	備考	市民活動交流会・各種講座の実施、機関紙・SNSでの情報発信				
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)			達成見込年度	令和 8 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	市民活動サポートセンターへの登録団体を増やす。（令和3年度実績：219団体）				
	目標値	224団体	232団体	248団体	251団体	254団体
	実績値	232団体	243団体	261団体		
	備考	新野沢会館移転に伴い、センターの認知度が向上した				
財政効果額（千円）						
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	5	区分	1-1-(3)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	消防団のあり方の見直し				
現状と課題	地域の現状等を勘案しながら、消防団の班等組織の統合や再編成を図る。また、サラリーマン化等を勘案しながら、消防団活動の効率化を図る。				
担当部署	総務部危機管理課消防団係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	会議・訓練等、消防団活動の見直し	効果測定	指標設定
目標		会議、ポンプ操法大会等の見直しによる負担軽減と、実情に即した訓練実施等により消防力の向上を図る。			
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	ポンプ操法大会出場隊の縮小、会議時間の短縮、実災害に即した訓練実施等			
	実績	一部達成	達成	達成	
	備考	火災対応訓練、水防訓練等実施	火災対応訓練、水防訓練等実施	火災対応訓練、土砂災害訓練実施	
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）		達成見込年度	令和 8 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標	ポンプ操法大会出場隊の縮小（直近開催（令和元年度）実績：23分団〔小型ポンプ：23台・ポンプ車：14台〕）			
	目標値	12分団 (小型：8台・車4台)	12分団 (小型：8台・車4台)	13分団 (小型：9台・車4台)	11分団 (小型：8台・車3台)
	実績値	中止	12分団 (小型：8台・車4台)	13分団 (小型：9台・車4台)	
	備考	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	出場隊の縮小及び階差時間を縮小して実施	出場隊を当番制して実施するため昨年より多くなったが、半日で終わるように実施	
財政効果額（千円）					
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容		

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	5	区分	1-1-(3)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	消防団のあり方の見直し				
現状と課題	地域の現状等を勘案しながら、消防団の班等組織の統合や再編成を図る。また、サラリーマン化等を勘案しながら、消防団活動の効率化を図る。				
担当部署	総務部危機管理課消防団係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	2	改革事項	班等の統合による組織の再編成	効果測定	指標設定	
目標		団員減少による地域防災力の低下を防ぐため、班等組織を統合・再編成を図る。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	消防団員の条例定数の見直し準備	消防団員の条例定数の見直し（1,842人→1,600人）			
	実績	一部達成	達成	一部達成		
	備考	条例改正、一部班等組織統合	R5.4.1条例改正	各隊の人数、資機材等の配備状況を基に、各地域の団員と協議を実施		
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）		達成見込年度	令和 5 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	消防団員数の維持（令和4年4月1日現在：1,540人）				
	目標値	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人	1,600人
	実績値	1,550人	1,463人	1,455人		
	備考	R5.4.1時点	R6.4.1時点	R7.4.1時点		
財政効果額（千円）						
計画改訂年度	令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	6	区分	1－1－(3)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	道路施設及び駅前広場のアダプトシステム※事業の促進				
現状と課題	民間活力をより利用することで、施設の維持向上及び行政コストの削減を図り、道路施設及び駅前広場の利便性や安全性を効率的に実現する必要がある。				
担当部署	建設部土木課管理係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	新たな情報発信による事業の推進		効果測定	指標設定
目標		アダプトシステム事業に対して理解していただくよう広報など工夫しつつ情報を発信し、その普及を推進する。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	広報等による事業周知に加えSNS等を活用し幅広く事業の普及啓発を図り、参加団体を募る。 区長に対し貸与携帯を活用した周知活動を行い、事業の推進を図る。	➡		広報等に加えSNS等を活用し幅広く事業の周知を図り、参加団体を募る。 区長総会等において事業内容等の周知を行い、事業の推進を図る。	➡
	実績	達成	一部達成	達成		
	備考	新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、区長への携帯を活用した周知活動を見送った。	広報やSNS等を活用し周知を図ったが、参加団体の新規申し込みがなかった。	広報やHP等を活用し周知を図った。		
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）		達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	道路施設及び駅前広場における新規参加団体数				
	目標値	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体
	実績値	1団体	0	1団体		
	備考	事業に対する相談等が数件あったが、新規の協定締結までには至らなかった。				
財政効果額（千円）						
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

※アダプトシステム：「里親制度」とも呼ばれ、地域住民団体などが道路や公園などを「里親」として施設管理者と協定を交わし、ボランティアで歩道、植樹帯、公園などの美化活動を行う制度。施設管理者は、里親への清掃用具の貸与などを行い、アダプト活動を支援する。

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	7	区分	1-1-(3)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	公園のアダプトシステム※事業の推進				
現状と課題	緑のまちづくり推進のため、市民と行政が協働する取り組みが必要である。				
担当部署	建設部 公園緑地課 公園管理係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	新たな情報発信による事業の推進	効果測定	指標設定
目標		緑のまちづくりのため、公園のアダプトシステム事業について、広報などを工夫しつつ、その普及を推進する。			
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	広報等による事業周知に加えSNS等を活用した周知活動を行うことで幅広く事業の普及啓発を図り、参加団体を募る。また、各区が里親として美化活動を行うことが効果的と考えられるため、区長携帯に対しオクレンジャーを通じた周知活動などを行うことで事業の推進を図る。			
	実績	一部達成	一部達成	一部達成	
	備考	各区長に対し、オクレンジャーによる普及啓発を図る予定でいたものの、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、年度途中ではなく、新年度早期に啓発することが効果的であると判断し、当年度における啓発を見送ったため、一部達成とした。	広報による事業周知を行い、参加団体を募ったが、各区や事業者等に対して、より効果的な周知方法について、検討していく。	広報、FMさくだいら及びHPの更新を行い、参加団体を募ったが、各区や事業者等に対して、より効果的な周知方法について、検討していく。	
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）		達成見込年度	令和 8 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標	公園アダプトシステム事業の新規参加団数（令和3年度実績：全32団体、新規加入2団体）			
	目標値	1団体	1団体	1団体	1団体
	実績値	0団体	3団体	0団体	
	備考	団体の新規加入に向けて引き続き周知を行う。		団体の新規加入に向けて引き続き周知を行う。	
財政効果額（千円）					
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容		

※アダプトシステム：「里親制度」とも呼ばれ、地域住民団体などが道路や公園などを「里親」として

施設管理者と協定を交わし、ボランティアで歩道、植樹帯、公園などの美化活動を行う制度。

施設管理者は、里親への清掃用具の貸与などを行い、アダプト活動を支援する。

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	8	区分	1-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	学校給食調理業務の民間委託				
現状と課題	安心・安全とともに、食育の一環としての給食の充実と効率化を図るために、給食事業のあり方について見直していく必要がある。				
担当部署	学校教育部 学校給食課		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	学校給食調理業務の民間委託	効果測定	財政効果額
目標		給食調理業務の民間委託に対する不安を解消するため、保護者、地域住民等に説明の機会を設け実施時期について判断する。			
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	保護者・地域住民等への説明、パブリックコメントの実施	保護者・地域住民等への説明、パブリックコメントの実施	保護者・地域住民等への説明、パブリックコメントの実施	
	実績	一部達成	一部達成	一部達成	
	備考	先進市の視察を実施し、課題把握に取り組んでいる。	実施市町村の取組を参考とするため、行政視察（須坂市）を実施	先進地の実施市町村の取組を参考として、課題把握に取り組んでいる。	
	開始年度	令和 2 年度 (経過年数 4 年)		達成見込年度	令和 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標				
	目標値				
	実績値				
	備考				
財政効果額（千円）	-	-			
計画改訂年度	令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画 (R4～R8)

1. 基本情報

番号	9	区分	1-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	公立保育所給食調理業務の民間委託				
現状と課題	公立保育所給食調理業務の民間委託について検証を進める必要がある。				
担当部署	福祉部子育て支援課保育係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	公立保育所給食調理業務の民間委託	効果測定	財政効果額
目標		公立保育所給食調理業務の民間委託について検証を進め、民間委託を実施する。			
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	保護者・地域住民等への説明、パブリックコメントの実施			
	実績	一部達成	一部達成	一部達成	
	備考	実施他市町村への視察準備として、調理員からの意見集約	実施市町村の取組を参考とするため、行政視察（小諸市）を実施	給食調理業務を委託している市内の私立認定こども園にて、検討する際の参考とするため、調理現場を見させていただくとともに園長から話を聞いた。	
	開始年度	令和 2 年度（経過年数 4 年）		達成見込年度	令和 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標				
	目標値				
	実績値				
	備考				
財政効果額（千円）	-	-			
計画改訂年度	令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画 (R4～R8)

1. 基本情報

番号	10	区分	1-2-(2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	佐久地域定住自立圏の推進				
現状と課題	佐久市が中心市としての役割を果たし、関係市町村と連携して、さらなる市民サービスの展開、圏域の定住人口の確保、また地域の活性化を図っている。連携事業を実施する際に経費が発生する場合の関係市町村との費用負担の調整が必要となる。				
担当部署	企画部 企画課 企画調整係			分類	継続

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	定住自立圏ビジョンの見直し			効果測定	指標設定
目標	令和8年度の「定住自立圏ビジョン」の改訂に向けて検討を進める。						
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	「定住自立圏共生ビジョン」の進捗管理	→		定住自立圏ビジョンの改訂		
	実績	達成	達成	達成			
	備考	-	-				
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)			達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標	定住自立圏構成市町村が協力・連携して取り組む事業数 (令和3年度実績: 34事業)					
	目標値	33事業	33事業	33事業	33事業	33事業	
	実績値	33事業	33事業	33事業			
	備考	-	-				
財政効果額(千円)							
計画改訂年度	令和 年度	改訂内容					

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	11	区分	2-1-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	文書管理システムの導入				
現状と課題	公文書の作成から起案、決裁、施行、保存、廃棄に至る一連の業務については、紙で行うことが前提となっており、業務の効率化、文書の適正管理、ペーパーレス及びテレワーク等の実現を図る上で支障となっている。				
担当部署	総務部総務課文書法規係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	文書管理システムの導入による事務効率化	効果測定	指標設定
目標		電子決裁機能付きの文書管理システムの導入により、公文書の作成から廃棄に至る一連の業務を電子化し、事務の効率化及び公文書の適正管理を実現する。			
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	先行事例調査、課題整理	調達仕様書の検討（or共同調達エンタリー）、当初予算要求、調達準備、導入準備（公文書の棚卸し）	契約、新システム構築、公文書の棚卸し、文書取扱規程等の見直し	運用開始（遅くとも10月には稼働）
	実績	達成	達成	達成	
	備考	先行自治体を視察し、次年度以降導入までの課題を整理した。	各システム及び導入から運用までの金額の比較、庁内との調整の結果、共同調達を選択し、予算要求を行った。	共同調達に申込み、システムを構築した。また、公文書の分類表の作成及び例規改正を行った。	
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）		達成見込年度	令和 7 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標	電子決裁率（※文書管理システム適用範囲内における電子決裁率）			
	目標値	—	—	—	40% 80%
	実績値	—	—	—	
	備考	—	—		
財政効果額（千円）					
計画改訂年度	令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	12	区分	2-1- (1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	窓口業務の改善と充実				
現状と課題	窓口業務について、より市民満足度を高めるような改善と充実が必要である。				
担当部署	企画部情報政策課情報システム係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	総合窓口システムの導入及び市民課窓口のレイアウトの変更	効果測定	-	
目標		窓口業務の改善と充実を推進するため、総合窓口システムの導入により、来庁者の申請書の記入時間の短縮を図るとともに、市民課窓口のレイアウトを変更し、来庁者のニーズに合わせた対応を行うことで、市民サービスの向上を図る。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	総合窓口システムの導入及び市民課窓口のレイアウト変更	-	-	-	-
	実績	達成	-	-	-	-
	備考	-	-	-	-	-
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）			達成年度	令和 4 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標					
	目標値					
	実績値					
	備考					
財政効果額（千円）						
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	12	区分	2-1- (1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	窓口業務の改善と充実				
現状と課題	窓口業務について、より市民満足度を高めるような改善と充実が必要である。				
担当部署	企画部情報政策課情報システム係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	2	改革事項	キャッシュレス決済の導入		効果測定	指標設定		
目標		キャッシュレス決済の普及拡大により、コード決済、プリペイド式決済、クレジットカード決済など、市民が利用する決済方法も多種多様化していることから、市民の利便性及び満足度向上のため、本庁舎（市民課、税務課、収税課、子育て支援課）及び各支所（3か所）にキャッシュレス決済を導入する。						
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8		
	行動内容	—	—	キャッシュレス決済の導入・運用	→			
	実績	—	—	運用開始（R6.12）				
	備考	—	—					
	開始年度	令和 6 年度（経過年数			達成見込年度	令和 8 年度		
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8		
	指標	キャッシュレス決済対応窓口におけるキャッシュレス決済の利用割合（%）						
	目標値	—	—	5	10	20		
	実績値	—	—	5.48				
	備考	—	—	達成				
財政効果額（千円）								
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容					

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	13	区分	2-1-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	I C Tの活用と業務プロセスの見直し				
現状と課題	限られた人員と予算の中で市民サービスの向上を目指すため、DX*（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、業務プロセスを根本から見直していく必要がある。				
担当部署	企画部 情報政策課 DX推進係、情報システム係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	R P A*活用による事務効率化			効果測定	指標設定・財政効果額
目標		業務プロセスを見直し、R P Aの活用により事務作業の効率化を図る。					
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	BPR*実施、RPA活用業務検討	RPAを活用する業務の追加				
	実績	達成	達成	達成			
	備考	—	—	—			
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)		達成見込年度	令和 8 年度		
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標	新たにRPAを活用する業務数					
	目標値	2	2	2	2	2	
	実績値	2	10	4			
	備考	・保険料還付事務（国保医療課、高齢者福祉課） ・就学援助費給付事務（学校教育課）	・障害福祉サービス受給者証関係業務（福祉課）、国保税関係入力業務（国保医療課）、施設等利用費関係業務（子育て支援課）	・後期高齢者医療費還付登録処理（国保医療課）、マイナンバーカード申請書ID発行事務（市民課）、佐久市下水道受益者負担金システム登録（下水道課）			
財政効果額（千円）		575	3,635	1,454			
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

*DX : I C T（情報通信技術）の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

*A I : 人工知能。大まかには「知的なコンピュータプログラムを作る科学と技術」とされている。

アーティフィシャルインテリジェンス（Artificial Intelligence）の略

*R P A : パソコンのマウスやキーボードのソフトウェアによる自動操作。ロボティクスプロセスオートメーション

（Robotic Process Automation）の略

*B P R : 業務プロセス全体について、詳細に分析・評価・改善を行うことを通じて、抜本的な業務効率化と利便性向上の双方を実現する取組。

ビジネスプロセスリエンジニアリング（Business Process Re-engineering）の略

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	14	区分	2-1-(2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	窓口業務等における情報システムの標準化				
現状と課題	これまで業務システムは、市単独で導入・機能カスタマイズ等を行ってきたため、維持管理や制度改正時の改修等において個別対応を余儀なくされ負担が大きいことから、国が進めている自治体業務システムの標準化に対応する必要がある。				
担当部署	企画部情報政策課情報システム係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	自治体情報システムの標準化			効果測定	財政効果額
目標		国の進める自治体業務システムの標準化に対応するため、標準仕様に基づくシステムを導入する。					
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	システム比較分析 移行計画策定	比較分析に基づく 業務フロー見直し		システム改修・ データ移行を経て運用開始		
	実績	一部達成	達成	達成			
	備考	比較分析に係る経費の予算化（R5当初）		システム改修等に向けた経費の予算化（R7当初）			
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）			達成見込年度	令和 7 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標						
	目標値						
	実績値						
	備考						
財政効果額（千円）		—					
計画改訂年度		令和 7 年度	改訂内容	国のスケジュール変更に合わせて、行動内容を見直した			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	15	区分	2-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	ICTの活用による市民サービスの向上				
現状と課題	各種行政情報の伝達や手続等のデジタル化を進めているが、誰もが使いやすく、内容も充実させることで市民サービスの向上を目指していく必要がある。				
担当部署	企画部 情報政策課 DX推進係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	LINE公式アカウントを用いたサービスの拡充	効果測定	指標設定
目標		LINE公式アカウントを用いた各種サービスを充実させ、利用者を増加させる。			
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	サービスメニューの検討・開発・運用			
	実績	達成	達成	達成	
	備考	イベント予約、アンケートの実施等、37項目の見直しを実施	明日は何ゴミ？」サービス、まちづくり講座申込、LINEからHP内検索機能の搭載等	各教室の予約・アンケート、新佐久市20周年記念ロゴマーク等投票、マイナンバーカード受取予約等	
	開始年度	令和 2 年度（経過年数 4 年）		達成見込年度	令和 8 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標	LINE公式アカウントを用いた各種サービスへのアクセス件数（令和3年9月～令和4年3月実績：104,713件）			
	目標値	180,000件	260,000件	270,000件	280,000件
	実績値	255,065件	228,080件	192,817件	
	備考	コンテンツの追加等により、アクセス件数が大幅に増加した。	イベント予約のアクセス件数は増加したが、アンケートの実施件数が減少した。	メインメニューの表示性能向上の改修を行ったが、アクセス件数の集計対象外であった。	
財政効果額（千円）					
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容		

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	16	区分	2-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	公正で適正な入札契約制度の推進				
現状と課題	入札・契約の透明性・競争性・利便性を図るため、引き続き公正で適正な入札・契約制度について検討すると共に、より社会情勢に対応する入札・契約方法に見直すため、電子入札の対象範囲拡大、入札参加資格審査のシステム化や電子契約システムの導入を行う必要がある。				
担当部署	企画部契約課契約係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	電子入札の対象範囲の拡大	効果測定	財政効果額
目標		現在、指名競争入札、一般競争入札を対象としている電子入札について、随意契約まで対象を拡大する。			
年次 計画 （改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	電子入札システム改修・運用開始			
	実績	達成			
	備考	システム改修を行い、12月より電子入札にて対応可能とした。			
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)		達成年度	令和 4 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標				
	目標値				
	実績値				
	備考				
財政効果額（千円）		-	46	118	118
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容		

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	16	区分	2-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	公正で適正な入札契約制度の推進				
現状と課題	入札・契約の透明性・競争性・利便性を図るため、引き続き公正で適正な入札・契約制度について検討すると共に、より社会情勢に対応する入札・契約方法に見直すため、電子入札の対象範囲拡大、入札参加資格審査のシステム化や電子契約システムの導入を行う必要がある。				
担当部署	企画部契約課契約係			分類	継続

2. 目標及び実績

枝番	2	改革事項	入札参加資格審査システムの導入		効果測定	財政効果額
目標		長野県及び県内市町村との共同利用で入札参加資格審査システムを導入し、入札参加資格受付及び審査を一本化する。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	システム調達（県） 仕様・制度調整（市）	システム開発（県） 仕様・制度調整（市）	運用開始	➡	
	実績	達成	達成	達成		
	備考	長野県及び県内市町村と調整を行った。	長野県及び県内市町村と調整を行った。	R6.11月～R7.1 月で入札参加資格申請を受付した。		
	開始年度	令和 3 年度（経過年数 3 年）			達成見込年度	令和 6 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標					
	目標値					
	実績値					
	備考					
財政効果額（千円）		-	-	4860	1880	1880
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	16	区分	2-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	公正で適正な入札契約制度の推進				
現状と課題	入札・契約の透明性・競争性・利便性を図るため、引き続き公正で適正な入札・契約制度について検討すると共に、より社会情勢に対応する入札・契約方法に見直すため、電子入札の対象範囲拡大、入札参加資格審査のシステム化や電子契約システムの導入を行う必要がある。				
担当部署	企画部契約課契約係			分類	継続

2. 目標及び実績

枝番	3	改革事項	電子契約システムの導入		効果測定	財政効果額
目標		長野県内の地方公共団体が共同で利用する電子契約システムを導入し、市と契約相手方双方の業務の効率化と利便性向上を図る。				
年次 計画 （改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	-	-	電子契約システム運用開始	→	
	実績	-	-	達成		
	備考	-	-	7月よりシステムを導入し、電子契約に対応可能とした。		
	開始年度	令和 6 年度（経過年数 年）			達成見込年度	令和 6 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標					
	目標値					
	実績値					
	備考					
財政効果額（千円）		-	-	30	80	100
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	17	区分	2-2-(2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	情報のセキュリティ管理の徹底				
現状と課題	マイナンバー制度の導入などにより市の運営に必要な情報の管理徹底が必要不可欠であることから、これまで以上に強固な情報セキュリティ対策が必要である。				
担当部署	企画部情報政策課情報システム係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	セキュリティポリシーの最適化			効果測定	指標設定
目標		情報資産の安全かつ適切な管理ために、「佐久市情報セキュリティポリシー」について、適宜、見直し・更新を行う。					
年度 （改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	見直し・更新		→			
	実績	達成	達成	達成			
	備考	－	－	－			
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）			達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標	情報セキュリティインシデントの発生件数（令和3年度実績：0件）					
	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	
	実績値	0件	0件	0件			
	備考	－	－	－			
財政効果額（千円）							
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	18	区分	3-1-(2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	経営的視点による公有財産の適正な管理の実施				
現状と課題	公有財産は良好な状態を保ちながら、可能なものについては貸付や売却処分等を進める必要がある。				
担当部署	総務部財政課管財係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	公有財産の売却処分の推進		効果測定	財政効果額
目標		自主財源を確保するため、処分可能な公有財産について、一般競争入札やインターネットオークション等により売却処分を進める。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	売却処分の実施				
	実績	達成	達成	達成		
	備考	18件、 6,147.91m ² の 売却処分を行つ た。	20件、 20,179.98m ² の売却処分を行つ た。	17件、 8,698.16m ² の 売却処分を行つ た。		
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)		達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標					
	目標値					
	実績値					
	備考					
財政効果額（千円）		50,360	94,261	51,292		
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	19	区分	3-1-(2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	新たな自主財源の確保				
現状と課題	厳しい経済状況の中、市税等による自主財源の確保に加え、新たな自主財源の確保を検討していく必要がある。				
担当部署	企画部 企画課 行政改革係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	ネーミングライツ*の導入			効果測定	指標設定・財政効果額
目標		公共施設のネーミングライツ導入について検討を進める。					
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	情報収集・ 対象施設の検討		→ プロポーザル の実施	施設を特定せず に募集を開始 プロポーザルの 実施		→
	実績	達成	達成	一部達成			
	備考	先進事例の調査 等を行った。	実施市町村の 取組を参考と するため、行 政視察（桑名 市）を実施	基本方針・ガ イドラインを 見直しを行つ た			
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)		達成見込年度	令和 8 年度		
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標	ネーミングライツの新規導入施設数（累計）					
	目標値	-	-	-	1施設	1施設	
	実績値	-	-	-			
	備考	-	-	-			
財政効果額（千円）		-	-	-			
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

*ネーミングライツ：公共施設の名前（愛称）を付与する命名権と、付帯する諸権利のこと。

スポーツ施設などに企業名や社名ブランドをつけることで、市にとって、命名権の販売によって収入が得られるメリットがあり、命名権を購入する企業にとって、宣伝効果が見込まれる。

佐久市行政改革行動計画 (R4~R8)

1. 基本情報

番号	20	区分	3-1-(2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	企業誘致の推進				
現状と課題	市が所有する工業団地が無いことから、企業誘致を推進するための新たな工業団地整備が必要であるとともに、雇用の創出と地域経済の活性化により、自立した財政基盤を確立する必要がある。				
担当部署	経済部 商工振興課 工業振興・産業立地推進係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	工業団地造成及び企業誘致の方法	効果測定	-
目標		工業団地造成や企業誘致の方法などの、企業の立地動向などについて、長野県や金融機関、大手ゼネコンなどと連携を図り、情報収集するとともに官民一体となった取り組みを推進する。			
年次 計 画 （ 改 革 事 項 ）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	関係団体・民間等からの情報収集	造成方法及び企業誘致の方向性の決定	企業動向調査分析業務の実施により、企業誘致や工業団地造成など包括的な基本戦略と具体的な方策を定める	企業立地戦略を策定し、産業用地確保・整備に方向性を決定する。 
	実績	達成	一部達成	一部達成	
	備考	長野県東京事務所産業立地推進係や大手ゼネコン、デベロッパーから情報収集を行った	コロナ禍や国際情勢等の影響による企業に対する環境変化を考慮し、データや時代に即した造成方法・企業誘致の方向性を決定するための「企業動向調査分析業務」を実施する手順を整えた。	企業動向調査分析業務を実施し、企業誘致や工業団地造成など包括的な基本戦略と具体的な方策の素案を作成、パブリックコメントを実施した。	
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)		達成見込年度	令和 7 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標				
	目標値				
	実績値				
	備考				
財政効果額（千円）					
計画改訂年度		令和 7 年度	改訂内容	R7年度はじめに策定する企業立地戦略に基づき、産業用地確保・整備に関する方向性を決定する。	

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	21	区分	3-2- (1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	行政評価システムの見直し				
現状と課題	行政評価の結果の活用が十分に図られおらず、職員の事務負担も大きいことから、行政評価システムの活用やあり方について検証していく必要がある。				
担当部署	企画部 企画課 行政改革係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	行政評価システムの見直し			効果測定	-
目標		先進地の事例等を参考とし、「行政評価システム」の活用や簡素化等を含め、様々な角度から、行政評価システムのあり方について検討する。					
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	情報収集・先進事例の研究			方向性の決定	見直しの実施	
	実績	達成	達成	達成			
	備考	県内19市の状況等について情報収集を行った。	先進事例の調査等を行った。				
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)		達成見込年度	令和 8 年度		
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標						
	目標値						
	実績値						
	備考						
財政効果額（千円）							
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

1. 基本情報

番号	22	区分	3-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	保健事業の推進				
現状と課題	保健予防の観点から、健（検）診受診率の向上などの保健事業の推進を図る				
担当部署	市民健康部 健康づくり推進課 健診推進係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	特定健診要因調査に基づく新たな取組の実施			効果測定	指標設定
目標		要因調査の分析結果を踏まえ40代・50代の新規受診者の増加を図るために、既存事業の改善や新規事業への取り組みを行い受診率向上に繋げる。					
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	特定健診要因調査	調査の検証	検証結果に基づき新たな取組を開始	→		
	実績	達成	達成	達成			
	備考	特定健診要因調査を実施した。	要因調査結果を検証し関係部署と共有した。	訪問受診勧奨実施			
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)		達成見込年度	令和 8 年度		
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標	佐久市データヘルス計画に基づく特定健診受診率（令和2年度実績：40.3%）					
	目標値	51%	53%	48.0%	50.5%	53.0%	
	実績値	47.3%	44.8%	44.0%			
	備考	令和3年度実績値	令和4年度実績値	・実績値については令和5年度実績値 ・目標値については第3期データヘルス計画開始			
財政効果額（千円）							
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	23	区分	3-2- (1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	公共交通体系の再編				
現状と課題	多様なニーズへの対応や利便性の向上、運行の最適化を目指し、まちづくりと連携した地域公共交通を運行する必要がある。				
担当部署	環境部生活環境課生活公共交通係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	新たな公共交通体系による運行		効果測定	指標設定
目標		新たなデマンド交通の実証運行から本格運行への移行及び利便性向上のためのバス運行内容の見直しを行う。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	新たなデマンド交通実証運行実施、バス運行内容の見直し	新たなデマンド交通本格運行開始、バス運行内容の見直し	➡		
	実績	達成	達成	達成		
	備考	実証運行により、課題の抽出及び改善を行う	令和5年4月デマンドワゴンさくっと本格運行開始 令和6年4月からの路線バス運行内容の見直しを決定	令和6年4月から路線バス（中仙道線、山手線）増便		
	開始年度	令和 3 年度 (経過年数 3 年)		達成見込年度	令和 5 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	新たなデマンド交通及びバスの利用者数（令和3年度実績：92,366人）				
	目標値	92,400人	128,000人	157,000人	157,000人	157,000人
	実績値	126,965人	157,381人	164,296人		
	備考	デマンド： 54,427人 バス： 72,538人	デマンド： 81,316人 バス： 76,065人	デマンド： 84,657人 バス： 79,639人		
財政効果額（千円）						
計画改訂年度		令和 7 年度	改訂内容	利用者数の増加が、想定を上回っているため目標値を修正した。		

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	24	区分	3-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	アーティストバンク事業について				
現状と課題	アーティストバンクについては新規登録者は微増であり、活用者件数も少ないため事業の在り方にについて4年に一度程度で検証する必要がある。				
担当部署	社会教育部 文化振興課 文化振興係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	アーティストバンク事業の検証		効果測定	指標設定
目標		市民の方が文化芸術活動を行う機会のほか、鑑賞する機会を充実させることで、文化芸術を楽しむ心を育てる。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	HPにてアーティストの募集や情報の公開		登録者全員に対しアンケートを実施、効果検証を図る	事業形態の見直し（廃止を含む）	
	実績	達成	一部達成	一部達成		
	備考	HPによる公開のほか、文化関連施設に一覧台帳を設置し周知を広める。	HPによる公開のほか、文化関連施設に一覧台帳を設置し周知を広める。	登録団体に対しヒアリングを実施。翌年度にアンケートを実施する。		
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）			達成見込年度	令和 8 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	アーティストバンクへの新規登録者数（令和3年度実績：3名、全体130名）				
	目標値	2名	2名	2名	2名	-
	実績値	新規0名 (△2名、全体128名)	新規1名 (全体129名)	新規1名 (△3名、全体127名)		
	備考	条件を市内在住者等に変更し、登録者を限定したことから目標数に到達しなかった。	新規登録1名、公演のアーティストの紹介1件有、目標数に到達しなかった。	新規登録1名、公演のアーティストの紹介は無く、目標数に到達しなかった。		
財政効果額（千円）						
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1 基本情報

番号	25	区分	3-2-(2) (1-1-(2))	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	補助金等の現状把握と見直し				
現状と課題	補助金等評価シートに基づき、各課等における内部評価を実施するとともに、市民目線による外部評価を着実に実施し、補助金等の見直しを図る必要がある。				
担当部署	企画部 企画課 行政改革係			分類	継続

2 目標及び実績

枝番	1	改革事項	補助金等外部評価の実施及び補助金の見直し			効果測定	指標設定・財政効果額
目標		補助金等評価シートに基づき、全ての対象補助金等について、令和8年度までに外部評価を計画的に実施するとともに、補助金等の見直しを行う。					
年次 計画 （改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	外部評価を含む補助金等の見直しの実施					
	実績	達成	達成	達成			
	備考	-	-				
	開始年度	令和 3 年度 (経過年数 3 年)			達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標	補助金等外部評価の実施数。（令和3年度実績：15件）					
	目標値	18件	18件	15件	15件	10件	
	実績値	18件	18件	15件			
	備考	拡充：1件 現行どおり：13件 手法等の見直し：2件 廃止：2件	現行どおり：11件 手法等の見直し：5件 完了：2件	現行どおり：9件 手法等の見直し：3件 廃止：3件			
財政効果額（千円）		6,226	7,300	700			
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	26	区分	3-2-(2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	有機農産物認証負担金の見直し				
現状と課題	JAS法の改正により審査基準等の見直しが図られたこともあり、「有機の里 うすだ特別栽培農産物認証制度」は、平成25年以降申請者はなく、当認証制度の在り方について検討する必要がある。				
担当部署	総務部 岐田支所 経済建設環境係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	認証制度の廃止			効果測定	財政効果額
目標		今年度中に「有機の里 うすだ特別栽培農産物認証制度」及び負担金廃止について、佐久市有機農業研究協議会にて協議する。					
年次 計画 （改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	佐久市有機農業研究協議会にて「廃止」を確認する。		-	-	-	-
	実績	達成		-	-	-	-
	備考	R4.4.11当協議会役員会にて「廃止」の確認が出来た。		-	-	-	-
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）			達成年度	令和 4 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標						
	目標値						
	実績値						
	備考						
財政効果額（千円）		100	-	-	-	-	
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	27	区分	3-2-(3)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	外郭団体の見直し				
現状と課題	外郭団体について、経営主体の自立性を高めることや解散等を含め、あり方を見直す必要がある。				
担当部署	企画部 企画課 土地調整係			分類	継続

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	土地開発公社の解散		効果測定	財政効果額
目標		土地開発公社については、近年、市からの事業用地の先行取得の依頼がなくなっていることに加え、民間事業者による住宅団地造成も進んでいることから、公社として新たな住宅団地を造成する必要もなく、公社の存在意義が希薄となっている。こうした中、経費削減、派遣職員の削減や事務負担の軽減等のため、令和4年度中に土地開発公社を解散する。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	土地開発公社の解散	—	—	—	—
	実績	達成				
	備考	R4に解散したため、R5から人件費が削減（財政効果額）				
	開始年度	平成 29 年度（経過年数 7 年）		達成年度	令和 4 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標					
	目標値					
	実績値					
	備考					
財政効果額（千円）		685	—	—	—	—
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

第四次佐久市行政改革行動計画

1. 基本情報

番号	28	区分	3-2-(3)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	継続的な健全経営と良質で安定した医療の提供				
現状と課題	医師をはじめとする医療スタッフの確保と急激に変化する医療情勢、医療ニーズへの取組みを強化しつつ、健全経営に向け医療体制の充実を図る必要がある。				
担当部署	浅間総合病院総務課総務係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	医療体制の充実			効果測定	指標設定
目標		医療提供体制の向上、収益確保、費用の削減等に努める					
年次 計画 (改革事項)	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	地域の医療ニーズに応えるための医療体制の充実		→			
	実績	達成		達成	達成		
	備考	心臓血管造影室の整備					
	開始年度	平成 24 年度 (経過年数 12 年)			達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標	経常収支比率 (令和3年度実績: 96.6%)					
	目標値	98%	99%	100%	101%	102%	
	実績値	96.7%	94.8%	99.1			
	備考	コロナ禍により入院患者が減少したため、目標を達成することができなかった。		内科医師不足により、受け入れ患者が減少したため、目標を達成できなかった。		内科医師不足等により、患者数が見込みより少なかったため、目標を達成できなかった。	
財政効果額 (千円)							
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	29	区分	3-2- (3)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	水洗化の普及促進と継続的な健全経営の実現				
現状と課題	水洗化により快適な生活環境の実現を図るとともに、施設等の老朽化に伴う更新や、人口減少に伴う収入減少に対応した長期的な展望による健全経営を維持する必要がある。				
担当部署	環境部下水道課経営管理係、排水計画係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	効率的な施設整備、維持と水洗化による快適な生活環境の提供		効果測定	指標設定
目標		戸別訪問の実施等を行い水洗化率の向上に努めるとともに、健全経営を維持する。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	戸別訪問の実施及び令和3年度に改定した経営戦略に基づき健全経営を維持する。加えて経営状況の変化にあわせて戦略を見直す。				戸別訪問の実施及び令和3年度に改定した経営戦略の質の向上を図るために改定を行う。
	実績	達成	達成	達成		
	備考	—	—			
	開始年度	平成 24 年度（経過年数 12 年）		達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	水洗化率（令和3年度実績：95.1%）				
	目標値	95.3%	95.5%	95.7%	95.9%	96.1%
	実績値	95.3%	95.4%	95.5%		
	備考	—	—			
財政効果額（千円）						
計画改訂年度	令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	30	区分	3-3- (1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	公共施設等の適正化の推進				
現状と課題	将来更新費用に対応するため、公共施設等の総合的かつ計画的な管理の実現が必要なことから、佐久市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の適正化を着実に進める必要がある。				
担当部署	企画部 企画課 公共施設適正化推進係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	「公共施設等総合管理計画」及び「個別施設計画」の改訂	効果測定	指標設定・財政効果額
目標		令和4年3月に改訂した「佐久市公共施設等総合管理計画」及び、これに基づき策定した「個別施設計画」に基づき、人口減少や財政状況の変化などを考慮した公共施設等の適正化を推進する。 計画の進捗管理を行うとともに、適正化を図るための調整を進め、令和8年度末までに計画を見直す。			
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	個別施設計画の方針を保留している11施設について、方向性を決定する	情報収集・計画改訂準備	→	計画の改訂の準備、プロポーザル
	実績	達成	達成	達成	
	備考	—			
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)		達成見込年度	令和 8 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標	実施時期が短期（令和8年度まで）となっている61施設のうち、対策を実施した施設数			
	目標値	6施設	9施設	16施設	10施設
	実績値	6施設	5施設	9施設	
	備考	—	4施設については、対策の実施時期が令和6年度に変更となった。	・2施設は対策実施時期が次年度以降へ変更となった。 ・1施設が当初計画より前倒しで対策を実施した。	
財政効果額（千円）		17,102 ※R3施設カルテより	2,284 ※R4施設カルテより	3,563 ※R5施設カルテより	
計画改訂年度		令和 7 年度	改訂内容	・一部の施設の対策実施時期が変更になったため、目標値を変更した。	
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標	実施時期が中期（令和9年度～令和18年度）長期（令和19年度～令和38年度）となっている186施設のうち、当該年度における目標を達成した施設数			
	目標値	186施設	186施設	186施設	186施設
	実績値			2施設	
	備考			財政効果額：1,836千円	
財政効果額（千円）					
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容		

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	31	区分	3-3-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	霊園管理のあり方の見直し				
現状と課題	臼田第1・第2霊園について、これまで使用者から徴した「永代使用料及び永代管理料」の基金等を経費に充て、直営で管理をしているが、将来の基金減少を見据え、今後の管理方法について検討する必要がある。				
担当部署	総務部 臼田支所 経済建設環境係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	霊園の管理手法の検討			効果測定	財政効果額
目標		直営で管理した場合、民間に業務を委託した場合の経費等の比較検討等により、今後の管理方針を決定する。					
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	管理手法を検討する。	市の方針決定	作業効率向上のための備品購入			
	実績	達成	達成	達成			
	備考	墓地の維持管理について検討した。	人件費の高騰により、直営と委託の差額（約48,000円→約17,000円）が縮小し、財政効果額が見込めないため、管理は直営とし、今後、直営で作業するにあたり、効率を上げるために噴霧器（約17000円）を購入する予定。	噴霧器を購入した。引き続き施設の運営していく上で必要な修繕を行う。			
	開始年度	平成 18 年度（経過年数 18 年）			達成年度	令和 5 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標						
	目標値						
	実績値						
	備考						
財政効果額（千円）		-	-	-	-	-	
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	32	区分	3-3-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	近代化施設の地元地区等への移譲				
現状と課題	農業近代化施設について、耐用年数が経過した施設を中心に公の施設の位置づけを廃止し、払い下げを進めていく必要がある。				
担当部署	経済部農政課農業生産振興係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	ガイドラインの作成		効果測定	-
目標		払い下げにあたりガイドラインを設定し、関係機関等と調整・協議のうえ払い下げを行う。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	ガイドライン（案）の作成	・ガイドライン（案）の作成 ・関係機関等との調整、協議	・ガイドライン（案）の作成 ・関係機関等との調整、協議	・ガイドラインの制定 ・運用開始	
	実績	一部達成	一部達成	一部達成		
	備考	近代化施設の状況把握を実施。ガイドライン（案）作成は翌年度に実施	ガイドライン（案）作成。関係機関等と協議を実施。	ガイドライン（案）作成。関係機関等と協議を実施。	各支所と協議して運用開始する。	
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）			達成見込年度	令和 7 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標					
	目標値					
	実績値					
	備考					
財政効果額（千円）						
計画改訂年度		令和 7 年度	改訂内容	令和 7 年度にガイドラインを制定して運用開始する。		

第四次佐久市行政改革行動計画

1. 基本情報

番号	33	区分	3-3-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	展覧会の運営の見直し				
現状と課題	佐久市立近代美術館において企画開催している展覧会は観覧者から高評価を得ているが、観覧者数は増加していない。展覧会運営方法の工夫により経費増加を抑え将来の観覧者を確保する				
担当部署	社会教育部 近代美術館 美術館係		分類	継続	

2. 目標及び実績

年次計画 (改革事項)	枝番	1	改革事項	18歳未満観覧料の見直し	効果測定	指標設定
	目標		18歳未満観覧者の利便性を向上させ美術館への関心を高めることで、将来にわたって観覧者数の増加につなげる			
	年度		R4	R5	R6	R7
	行動内容	試行・観覧者意向調査市内類似施設協議調整	18歳未満観覧無料試行 観覧者意向調査・方針決定	条例改正 18歳未満観覧無料実施 学校等へ働きかけ		
	実績	一部達成	一部達成	一部達成		
	備考	観覧者意向調査については、新型コロナウイルスの状況に鑑み、令和5年度において実施する。	18歳未満観覧無料試行。観覧者意向調査による無料賛成84.9%。試行継続方針決定。	18歳未満観覧無料試行継続。観覧者意向調査による無料賛成89.28%		
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)			達成見込年度	令和 6 年度
	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	18歳未満観覧者数が前年度を上回る(令和3年度大学生以下実績:1,699人、全観覧者数の17.4%)				
	目標値	1,700人	1,750人	1,800人	1,850人	1,900人
	実績値	1,411人	1,065人	1,503人		
	備考	改修工事休館や新型コロナウイルスの影響等で入館者数減少、18歳未満全入館者の18.2%	観覧者数が減少傾向にあり目標値も未達成。18歳未満観覧者割合15.9%で減少。	観覧者数増加、18歳未満観覧者割合も17.11%に増加したものの目標は未達成。		
財政効果額 (千円)						
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画 (R4~R8)

1. 基本情報

番号	34	区分	3-3-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	生活排水処理施設の統廃合の推進				
現状と課題	生活排水処理施設の安定的な下水道経営を図る為、処理区の統合・再編等を行う必要がある。				
担当部署	環境部下水道課排水計画係		分類	継続	

2. 目標及び実績

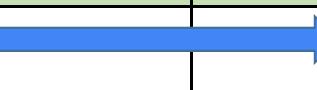
枝番	1	改革事項	統廃合計画の遂行	効果測定	財政効果額
目標		安定的な下水道経営を図るため、生活排水処理施設の統廃合を進める。			
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	統廃合計画により、平井処理場の財産処分	平井処理区統廃合の実施設計	・平井処理区の統廃合による工事 ・常和処理場の財産処分	・平井処理区の工事 ・常和処理区統廃合の実施設計
	実績	達成	達成	達成	
	備考	－	－	－	
	開始年度	平成 24 年度 (経過年数 12 年)		達成見込年度	令和 19 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標				
	目標値				
	実績値				
	備考				
財政効果額（千円）	-	-	-	7,000	7,000
計画改訂年度	令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	35	区分	3-3-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	PPP/PFI [*] の活用				
現状と課題	民間のノウハウ等をより一層有効に活用するため、PPP/PFIの活用が求められている。				
担当部署	企画部 企画課 行政改革係			分類	継続

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	PFIに関する内部規定の策定の検討		効果測定	-	
目標		民間業者との適切な役割分担を実現するため、PPPなどの公民連携の先進的な取組や、PFI手法を活用した公共施設等の整備、運営などについて、活用事例などを研究し、ノウハウなどの情報の共有を図る。 PFIについては、人口20万以上の都市に要請されている「優先的検討規程」に準じた内部規定などの検討も進める。					
年次 計 画 (改 革 事 項)	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	行動内容	情報収集・ 内部規定の策定検 討		内部規定の策定			
	実績	達成	達成	一部達成			
	備考	先進事例等の情報 収集を行った。	実施市町村の取組を 参考とするため、行 政視察（湖西市）を 実施				
	開始年度	令和 4 年度 (経過年数 2 年)		達成見込年度	令和 8 年度		
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標						
	目標値						
	実績値						
	備考						
財政効果額（千円）							
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

*PPP：公民が連携して公共サービスの提供を行う、新しい官民協力の手法のこと。「Public Private Partnership」の略

*PFI：公共部門が実施していた公共施設等の運営などを民間の資金やノウハウを活用し、民間事業者主導で実施すること

によって効率的・効果的な公共サービスの提供を図ること。「Private Finance Initiative」の略

佐久市行政改革行動計画 (R4～R8)

1. 基本情報

番号	36	区分	4-1-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	人材育成の推進				
現状と課題	職員自らが意欲を持って専門性や能力を開発・向上させるための自己啓発意欲を醸成させる必要がある。				
担当部署	総務部総務課人事係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	人材育成推進のための研修機会の確保	効果測定	指標設定
目標		各種研修を実施するとともに、自発的な研修に対して支援する。			
年次計画 (改革事項)	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	人材育成基本方針に基づき、人材育成を推進する。	人材育成基本方針に基づき、人材育成を推進する。	人材育成基本方針に基づき、人材育成を推進する。	
	実績	達成	達成	一部達成	
	備考	—	—		
	開始年度	平成 18 年度 (経過年数 18 年)		達成見込年度	令和 8 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標	人事係主催の自発的な独自研修の年間開催数 (令和3年度実績: 17件)			
	目標値	24件	24件	24件	24件
	実績値	24件	24件	17件	
	備考	・精神、発達障害者しごとサポート養成講座・フェムテック研修・再任用職員研修	・ハラスメント防止研修・キャリアシフトセンター研修・働き方改善研修	・カスハラ対応研修・心理的安全性向上研修・女性の健康オウエンセミナー	
財政効果額 (千円)					
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容		

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	37	区分	4-1-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	人事評価結果の処遇への反映				
現状と課題	人事評価制度の有効活用のため、評価結果を人材育成や給与等処遇へ反映させる必要がある。				
担当部署	総務部総務課人事係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	評価結果の人材育成や給与等処遇への反映			効果測定	-
目標	適正な評価を実施するための研修の実施や、評価結果を処遇に反映することで、より効果的に活用する。						
年次計画（改革事項）	年度	R4		R5	R6	R7	R8
	行動内容	職員の意欲や能力の向上のため、人事評価結果を人材育成や給与等処遇へ反映させる。	職員の意欲や能力の向上のため、人事評価結果を人材育成や給与等処遇へ反映させる。	職員の意欲や能力の向上のため、人事評価結果を人材育成や給与等処遇へ反映させる。	➡		
	実績	達成	達成	達成			
	備考	—	—	—			
	開始年度	平成 18 年度（経過年数 18 年）			達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8	
	指標						
	目標値						
	実績値						
	備考						
財政効果額（千円）							
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容				

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	38	区分	4-1-(2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	職員提案制度活用の推進				
現状と課題	職員の意識高揚や、データやコストの削減見込みを求めるなど、職員提案制度の活性化や、質の高い提案の提出につながるような、改善の工夫を図る必要がある。				
担当部署	企画部 企画課 行政改革係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	提案に対するインセンティブ導入の検討		効果測定	指標設定		
目標		職員提案制度の活性化及び提案の質の向上を図るため、優秀提案等に対するインセンティブの導入について検討する。						
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8		
	行動内容	情報収集	方針の決定	インセンティブの導入	他市の職員提案制度について情報収集を行う			
	実績	達成	達成	一部達成				
	備考	県内19市の状況等の情報収集を行った。	佐久市職員互助会において予算化し、優秀提案及び優秀改善実績について、インセンティブを導入する方針を決定した。	互助会での予算化にはそぐわないとの結果になり、導入には至らなかった。				
	開始年度	平成 29 年度（経過年数 7 年）	達成見込年度		令和 8 年度			
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8		
	指標	職員提案の提出件数（令和3年度実績：14件、過去5年間の平均：7.4件）						
	目標値	9件	11件	13件	15件	17件		
	実績値	15件	8件	18件				
	備考	優秀提案：0件	優秀提案：1件	なし				
財政効果額（千円）								
計画改訂年度		令和 7 年度	改訂内容	インセンティブの導入は予算化に至らなかったため、他市の情報収集を引き続き行うため、改訂を行う。				

佐久市行政改革行動計画 (R4~R8)

1. 基本情報

番号	39	区分	4-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	専門性と事務量の増減に応じた職員配置				
現状と課題	機構改革、業務見直し等の状況により、職員の適性配置を常に継続していく必要がある。				
担当部署	総務部総務課人事係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	専門性と事務量に応じた職員の適正配置	効果測定	指標設定	
目標		各課からの配置要望や職員の能力・経験等を総合的に考慮し、自己申告制度を反映させた職員配置を行う。				
年次計画 (改革事項)	年度	R4	R5	R6	R7	
	行動内容	自己申告制度の見直しを行い、職員の能力等を把握し、適材適所な職員配置を行う。	自己申告制度により職員の能力等を把握し、適材適所な職員配置を行う。	自己申告制度により職員の能力等を把握し、適材適所な職員配置を行う。		
	実績	達成	達成	達成		
	備考	—	—	—		
	開始年度	平成 18 年度 (経過年数 18 年)		達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	
	指標	見直しを行った自己申告制度を活用した職員配置件数 (令和3年度実績: 4件)				
	目標値	4件	10件	15件	15件	15件
	実績値	20件	21件	19件		
	備考	—	—			
財政効果額 (千円)						
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	40	区分	4-2-(1)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	支所日直の見直し				
現状と課題	市内3支所の休日における日直業務は、職員が直営で行っているが、職員の負担軽減や働き方改革の視点から見直しが必要である。				
担当部署	企画部 企画課 行政改革係		分類	新規	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	支所日直の本庁日直への統合		効果測定	財政効果額
目標		関係課との調整を行い、職員の負担軽減のため、支所日直を本庁日直へ統合する。				
年次 計画 （改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	方針の決定	支所日直の本庁日直への統合	—	—	—
	実績	達成	達成	—	—	—
	備考	支所日直について、令和5年4月から本庁日直へ統合する方針を決定した。	支所日直について、令和5年4月から本庁日直へ統合した。	—	—	—
	開始年度	令和 4 年度（経過年数 2 年）	—	達成年度	令和 5 年度	—
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標	—	—	—	—	—
	目標値	—	—	—	—	—
	実績値	—	—	—	—	—
	備考	—	—	—	—	—
財政効果額（千円）		—	1,881	—	—	—
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	41	区分	4-2-（1）	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	各審議会の見直し				
現状と課題	役割が重複している審議会等について、統合を図るなど、より効果的な審議会の設置と運用を図る必要がある。				
担当部署	企画部 企画課 行政改革係			分類	継続

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	審議会の見直し指針の策定	効果測定	-
目標	各審議会の状況を把握し、情報の共有を図るなどにより、委員の重複や審議会の統合等、各審議会の事務局による自主的な改善が図られるような仕組みを構築する。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7
	行動内容	情報収集		見直し指針の策定	見直し指針の策定
	実績	達成	達成	一部達成	
	備考	先進事例の調査等を行った。	先進事例の調査等を行った。	先進事例の調査等を行った。	審議会の状況を調査し、全庁に共有することで、自主的な見直しを促す。
開始年度	平成 24 年度 (経過年数 12 年)			達成見込年度	令和 8 年度
目標	年度	R4	R5	R6	R7
	指標				
	目標値				
	実績値				
	備考				
財政効果額（千円）					
計画改訂年度	令和 7 年度	改訂内容	積み重ねた情報収集を指針策定の参考にするため、改訂を行った。		

佐久市行政改革行動計画（R4～R8）

1. 基本情報

番号	42	区分	4-2-(2)	評価実施年度	令和 7 年度
項目名	監視機能の強化				
現状と課題	地方分権の推進に伴い、市の役割と責任が増大していることから、より適正な事務処理の確保のため、内部統制*制度の導入なども含めた監視機能をより強化していく必要がある。				
担当部署	企画部 企画課 行政改革係		分類	継続	

2. 目標及び実績

枝番	1	改革事項	内部統制制度の導入の検討		効果測定	-
目標		都道府県及び指定都市以外では、努力義務とされている内部統制制度について、国の動きを注視しながら、導入について検討を進める。				
年次計画（改革事項）	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	行動内容	情報収集・導入の検討	→			
	実績	達成	達成	達成		
	備考	先進事例等の情報収集を行った。	先進事例等の情報収集を行った。	先進事例等の情報収集を行った。		
	開始年度	平成 24 年度 (経過年数 12 年)		達成見込年度	令和 8 年度	
目標	年度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標					
	目標値					
	実績値					
	備考					
財政効果額（千円）						
計画改訂年度		令和 年度	改訂内容			

※内部統制：住民の福祉の増進を図ることを基本とする組織目的が達成されるよう、首長自らが、

組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対策を講じることで、事務の適正な執行を確保すること。